

(9) 研究構想図

<学校教育目標>

感謝の心をもとに、かかわりの中で自己を高める、たくましい児童の育成
～安心して挑戦できる笑顔あふれる学校づくり～

<研究主題>

主体的に学ぶ子の育成
～子供主体の授業づくりを目指して～

めざす子ども像は…



課題に対して、自分から探究して学習を進めていく子（主体的な学び）

課題に対して、自分から考えを広げたり深めたりする子（対話的な学び）

つきたい力を明確にした上で…



- ・教材との出合わせ方 ・実生活との関連付け
- ・単元ゴール(学習計画)の活用
- ・立場の明確化 ・既習との違い、ずれを活かす
- ・多様な考えや不十分な考えを活かす など

<研究の重点>
重点1：一人一人が課題を自分事とするための単元デザイン
重点2：チャレンジタイムを有効な場にするための手立て

子供が学び方を選択・判断するための
学習形態の工夫

- ・発問の吟味 ・板書の工夫 ・ICTの効果的活用
- ・追資料の提示や効果的な資料の提示 ・再思考の場の設定
- ・多様な考えや不十分な考えを活かす ・立場の再認識、明確化 など

学習規律・教室環境の整備

- ・「生徒指導の4機能」を意識した授業づくり
- ・蝶屋っ子授業マナー5

話す・聴く・書く力の育成

- ・話し方名人レベルアップ表
- ・聴き方名人レベルアップ表
- ・蝶屋っ子きらいんノート
- ・蝶屋っ子きらいん作文

基礎基本の習得・定着

- ・蝶屋っ子パワーアップタイム（朝学習）
- ・読書、読み聞かせタイム
- ・家庭学習の習慣化
- ・ICTの基本操作と活用

学校研究を支えるための「学びの土台」